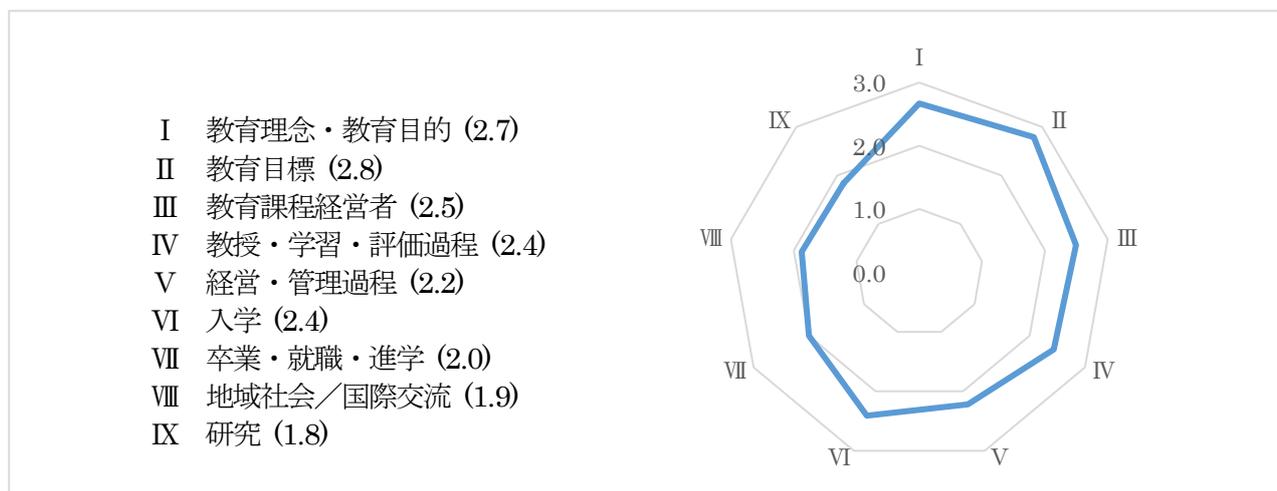


## 令和4年度 自己点検・自己評価集計結果



### I 教育理念・教育目的 (2.7)

令和4年度から新カリキュラムとなるため、教育理念、教育目標を再構築した。本校の風土、学生の特徴を捉えた独自性のあるものになっている。教員全員により決定したものであり、教育活動の指針を再認識している。

### II 教育目標 (2.8)

教育目標は、教育理念と教育目的と一貫している。さらに、新カリキュラムより、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを、教育目標に合わせて明記した。令和4年度から新カリキュラムの運用開始となるため新旧カリキュラムが混在しているが、それぞれ該当する学生の教育目標に沿った教育を行っている。

### III 教育課程経営者 (2.5)

教職員全員で教育課程の再構築を行っており、科目や単元目標、教育課程構造など共通認識し、各自それぞれが教育に対する士気が向上している。

### IV 教授・学習・評価過程 (2.4)

教員それぞれが教授方法の工夫をしている。コロナ禍でもあり、臨地実習が困難となる施設や、急遽中止となる場合もあった。そこで効果的な学内実習にするために、万能型看護実習モデル (SCINARIO) を活用し、臨床に近い実習ができるよう工夫した。コロナ感染者や濃厚接触者となった学生には、遠隔授業で対応し、ハイブリット授業を行っている。

### V 経営・管理過程 (2.2)

ICT 技術を活用し、遠隔授業ができるよう機械設備を整えた。感染対策を取りながら、臨機応変に ICT を活用することができている。本校を周知してもらうために、ホームページを活用し情報公開している。教員間での財政基盤に対する意識はやや低いが、学生生活の支援や組織運営に関しては概ねできている。

### VI 入学 (2.4)

令和2・3年度の入学者数は定員に満たしていない。コロナ禍でオープンキャンパスや高校ガイダンスの中止などの外交的活動を制限していたことや、少子高齢化社会、看護大学の増加等が入学者数の減少になったと推察する。SNS による WEB オープンキャンパスを実施したが、不十分であったと考える。本年度は、感染対策を行って、オープンキャンパスの再開と、SNS による学校開示、新しくスクールガイドを作成、学校訪問などにより学生募集に力を入れる。

### VII 卒業・就職・進学 (2.0)

国家試験対策をはじめチューター性を取っており、卒業するまでの就職・進学支援を行っている。実習病院に就職した卒業生の活動状況は把握できているが、活動状況が把握できていない卒業生も多い。今後は、中途退職者に対する就業相談なども行える支援も検討している。

## **Ⅷ 地域社会／国際交流 (1.9)**

コロナ渦で行動制限をしており、地域や国際交流は実施できなかった。今後は ICT の技術を活用し交流を広げていきたい。

## **Ⅸ 研究 (1.8)**

周防大島町病院事業局内に倫理委員会を設置しており、研究に対する環境は整っているが、教育業務が優先となっている現状である。研究活動が充実できるように、教員の研究に対する意識を高めていきたい。